

# 北海高等学校中期計画（令和2年度～令和6年度）

## I. 北海高校の基本理念とミッション

★建学以来の基本精神 『質実剛健・百折不撓』  
明朗・快活で己を飾らず、誠意を持って物事に当たり、  
どんな困難に出あってもくじけない強い意志で自分を鍛え、  
社会に貢献する有為な人材を育成する。

### 教育目標

本校の教育活動の基本的観点は、次の3つである。

1. 真理の探究と高い知性の習得をめざし、無限の可能性に挑戦する。
2. 豊かな人格を養い、正しい判断力を培い責任を重んじ、積極的に行動する。
3. 何事にも耐え得る健全な心身を養い、すぐれた文化を創造する。

さらに、本校は、1999(平成11)年の共学への移行に際して、新たに「育てたい人間像」を教育目標に加えた。

「育てたい人間像」  
Be Independent! 独立心を持った生徒  
Be Responsible! 信頼される生徒  
Be Active! 「生きる力」を備えた生徒  
Be Gentle! 多様性を認め合う生徒

これらの教育目標に沿った指導の重点目標は、生徒の多様な能力や個性を伸ばし、それぞれの進路目標を達成させるように指導すること。また、変化する社会（Society5.0など）を積極的・主体的に生きぬくたくましさを育てることである。

本校はこの間、「個性を重んじる人間教育」の上に、三本柱（①進路、②部活動、③国際）を重点課題として位置づけ、①の相対的強化、②の重点化、③の発展を図ることに努力を重ねてきている。

北海高校の教職員は、今日の学校教育が、一人ひとりの教育的ニーズに対応し多様化する教育課題を解決する新たな学校づくりを進めていかなければならないことを認識した上で、私学人として建学以来の基本精神を大切に、改めて「育てたい人間像」をめざした教育活動に最大限の努力を重ねることを使命とする。そのためにも、共学後20年間の教育活動の検証に努め、教職員それぞれが本校の強み、弱みを主体的に理解し、

共通意識を持って今後の教育活動に活かしていく。それが、「育てたい人間像」(ビジョン)に具体性を持たせ、生徒・保護者、社会からの信頼と評価が得られるようになるものとする。

### 「育てたい人間像」への基本的なアプローチ

- 北海高校で学ぶことの誇りを持たせ、百折不撓の精神で、進路、部活動、その他の活動に対して自己の目標を体現させる
  - 北海高校の歴史についての学び
  - 学校生活全体の中に生徒の主体性を育む教育活動の展開
  - 学習活動を中心に「Plan」「Do」「Check」「Action」を実行
  - 生徒の自己効力感を高めるための取り組み
  
- 新カリキュラム「北海エポック」の作成は、コース改変などを視野に入れた北海新時代の集大成となるものであり、2020年度内に原案が完成するよう研究・協議を重ねていく
  - 生徒一人ひとりが自ら学ぶ目的と喜びを持つことのできる指導
  - 生き方としての進路指導をベースに、生徒が第一志望を貫くことができるカリキュラム
  - 授業の質を向上

## Ⅱ. 教育活動充実への取り組み

### (1) 教育内容・方法の質的転換（教育力の向上をめざして）

- ① 生徒・保護者の声、外部評価の重要性を認識し、検証と向上に努める
- ② FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を通じて教育全体の質的向上を促進させる
- ③ ICT活用に関する研修の実施
- ④ 授業モデルの開発(外部の研究会や授業公開への参加などを基礎として)とその共有化に努める(Hokkai Teaching Know-how)ことで教師の力量を向上させる
- ⑤ アクティブ・ラーニングに関する研修の実施

### (2) 基礎学力の保証

- ① 新学習指導要領に対応するカリキュラムの策定と実施、分析・検討

- ② 年間行事の検証と充実、土曜日の扱いについて具体的な検討をし、授業時間を確保させる
- ③ 1年次の生活習慣・学習習慣の確立の重要性を確かめ合い、その指導を徹底する
- ④ 生徒のメタ認知力向上を意識した指導に努める
- ⑤ 家庭学習時間の確保を保証する
- ⑥ 「総合的な学習・探究の時間」についての研究
- ⑦ 「実のある高大連携」の具体的構築

### (3) 進路指導の充実

- ① 生き方としての進路指導を目的に、継続的で丁寧かつ質の高い面談指導を行う
- ② 「大学入学共通テスト」への対応と対策、情報を分析し全教員理解のもと指導に当たる
- ③ 特進クラス・進学コース上位層への(進路別及び個別の)受験指導強化
- ④ Sクラスにおける難関国公立大学への進学実績の向上のために工夫と実践を重ねる
- ⑤ 併設校推薦制度に関わる課題の検討

### (4) 国際交流事業の推進

- ① 学園4校による国際交流プログラムの充実
- ② 国際感覚の持った青年の育成を目的に留学生の受け入れ体制を強化
- ③ 海外大学進学に向けた支援体制の研究

### (5) 部活動の充実 ※北海の伝統と魅力を作り上げてきた観点から考えていく

- ① 部活動が人間教育の場(知・徳・体のバランスのとれた人間作り)であるということを学校の共通理解として捉える
- ② 部活動に取り組む生徒が、目標を高く持ち、その実現に向けて挑戦する姿勢が保てるよう練習環境の整備に努める
- ③ 学業との両立に努めること、多様な学力(思考力・表現力など)を備えることが部活動の実績に結びつくことを理解させる
- ④ 強化指定(運動)部の在り方について検証するとともにその充実を図る
- ⑤ 奨学金の充実をはじめ、進路に対する保証に努める

(6) 心の教育

- ① 生徒の自主・自律に基づく行動力の育成、自立・共生の心の育成
- ② 学校生活の中、及び社会的な活動を通じてボランティアの精神を育む
- ③ 倫理観、情報リテラシー、選挙権などについての考え方の育成
- ④ スクールカウンセラーによる対応とその充実に努める

(7) 広報活動・募集活動の充実

- ① 入試状況を精査し、募集活動の情報収集に努める
- ② 北海高校が求める生徒像（アドミッションポリシー）を明らかにし、その獲得に努める
- ③ 新カリキュラムを最大限に活かせる入試問題の作成及びその配点などの研究に努める

(8) 組織運営

- ① 北海高校の教職員としての意識統一、教育目標・カリキュラムを理解し責任をもって業務に当たる
- ② ガバナンス及びコンプライアンスの強化
- ③ 危機管理体制の強化（いじめ問題など不祥事への対応）
- ④ 分掌間・学年間の連携強化
- ⑤ 専任教員率の向上、(コース、クラス、部活動などに対応できる)教科指導力、生活指導力、専門性の高い人材の確保に努める
- ⑥ Hokkai Teaching Know-how は、新任教員の教科力向上にも活用させる
- ⑦ 学年主任・教科主任などの役割の定義づけ
- ⑧ 学校ガバナンス体制の強化
- ⑨ 校友会組織などとの連携を図るとともに、積極的な寄付の協力を募る

(9) 施設・校舎に関わる配置計画の研究

- ① 地域ナンバーワンの私立大学を系列にもつブランドイメージのもとで、充実した教育環境の整備に努める
- ② 教育目標の実現のための ICT 教育環境の早急な整備を行う
- ③ 冷房設備の拡充
- ④ 防災計画のもと、生徒の安全性を確保する
- ⑤ 現場の教員、部活動顧問の考えを尊重した新体育館建設に向けてのビジョンづくり
- ⑥ 学園全体の（多様な活用を可とする）教育環境充実に目的にした施設建設の研究